

# 景観や安全性の向上へ

## 銚子川流域で看板清掃



銚子川沿いにある看板を水洗いし、  
周辺の草を刈る参加者

便ノ山区から15人が参加した。

清掃範囲は、国道42号銚子橋付近から鍋谷川の堰堤付近と、木津から尾鷲市清掃センター上までおよそ15キロ。

「銚子川を日本一の川に」。銚子川環境保全会（協昇会長）は24日、「銚子川サインクリーンアップ」と題し、流域にある看板や標識などの清掃に取り組んだ。

看板などの清掃を行うことで、景観や安全性を高めることが目的で、今年で7回目。保全会を構成するNPO法人ふるさと企画舎、銚子川漁協、

4班に分かれた参加者たちは、スポンジを使っておよそ180枚の看板や道路標識を水洗いしてこの十年間に付いた汚れを洗い流したり、台風で倒れた看板を直したり、ごみ拾いや草刈り、汚れがひどいカーブミラーも併せて水洗いするなど、およそ2時間の作業で、流域の環境保全に努めた。